
性と生殖Ⅱ

池田 理恵 教授
齋藤 真希 講師
柳本 佳世子 助教
高岸 壽美 非常勤講師

3年次前期・必修

1単位・30時間

【概要・目的】

性と生殖Ⅰで学んだ知識をもとに、母性看護を実践するために必要な基礎的知識と看護技術を習得する。

【到達目標】

- 1) 妊娠・分娩・産褥期及び新生児期のアセスメントに必要な知識と看護技術を修得する。
 - 2) 母乳育児支援の基本的な知識と看護技術を修得する。
 - 3) 母性看護過程の特徴について理解し、事例にそって看護過程を展開する知識を修得する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 妊娠期の看護
 - 2) 分娩期の看護
 - 3) 4) 産褥期の看護
 - 5) 帝王切開術（術前・術中・術後）の看護
 - 6) 新生児期の看護
 - 7) 母乳育児支援
 - 8) 9) 母性看護過程事例展開（演習）
 - 10) 11) 12) 母性看護技術（演習） 妊娠期・分娩期・産褥期・リラクゼーション技術
 - 13) 14) 15) 母性看護技術（演習） 新生児期・授乳の援助
-

【評価】

筆記試験（80%）、授業への参加態度と提出物（20%）から総合的に評価する。

【教科書】

渡邊浩子他著「マタニティサイクルにおける母子の健康と看護」メヂカルフレンド社

【推薦参考図書】**【その他】**
